

オープンキャンパス  
東京学芸大学

教育支援課程(E類)  
教育支援専攻  
生涯学習・文化遺産教育コース

生涯学習・文化遺産教育コース  
教育支援専攻

# 生涯学習・文化遺産教育コース のミッション

どんな時、どんな場でも学び続ける人を支える  
学校を中心とする学びの空間を支援する  
そんな人を育てたい



# 「学び」をつなぐコーディネーターになる

変化する時代の中で、一人ひとりが生きる力を培い、さまざまな立場の人々が協力し、支えあって新しい社会を創造していくために、

誰もがいつでも、どこでも学び続ける、それが大切です。



# 「学び」をつなぐコーディネーターになる

そして、地域や学校において、人と人、人とモノ、過去と未来をつなげ、学校の先生方や子どもたち・・・多様な人文化遺産の保護・保存と教育的な活用を行う教育支援人材(博物館学芸員など)もその一例です。

人々の学びあいを支援する人を育てます。



# 生涯学習・文化遺産教育コース の授業について

# 1・2年次に教育支援に関する基礎を学びます

## 教育支援概論

E類の他コースの学生と共に、各コースの担当教員や現場職員による学校教育支援・地域教育に関するさまざまな講義を聞くことができる講義形式の授業。

## 教育支援協働演習

E類の他コースの学生と共に、学校教育支援・地域教育に関するさまざまなテーマについて、アクティブラーニング・グループワークの方法を重視しながら学ぶ授業。

# このコースに入ったら学べること 生涯学習

地域や学校などでの学習活動の企画やデザインするための理念や考え方、方法なども学びます。



子ども・おとな・高齢者など、さまざまな学習者の支援、学習活動の企画・組織化や地域教育に関する授業。

生涯学習を支える条件や環境整備、法制度、専門職の機能や役割を知ることができる専門的な授業などがあります。



# このコースに入ったら学べること 文化遺産教育

文化遺産の保護・保存とその活用を行っていくために  
必要な知識と技術が学べます



文化財科学、考古学、保存科学などの分野を中心に、  
文化財の調査・研究法、保存・修復法について、専門  
知識と技術を学ぶ授業があります。

博物館や文化遺産保護をベースにした教育支援の場  
で仕事をしたいと思う人に最適。

# 生涯学習・文化遺産教育コースの授業

たとえば・・・こんな科目が用意されています！

## 生涯学習

- ・生涯学習概説Ⅰ・Ⅱ
- ・現代社会と生涯学習
- ・生涯学習とキャリア形成
- ・社会教育実習
- ・学校図書館サービス特論
- ・図書館情報学概説Ⅰ・Ⅱ
- ・生涯学習社会と博物館
- ・博物館実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- ・卒業研究

## 文化遺産教育

- ・文化遺産教育と考古学
- ・考古学研究法
- ・文化財科学概説
- ・保存科学実地研究
- ・文化遺産教育フィールド演習
- ・文化財と関連諸学
- ・文化財保存・修復研究
- ・日本東洋美術史概説
- ・卒業研究

# 生涯学習・文化遺産教育コース の6分野

# 本コースの6つの分野

このコースで学ぶ学生は、3年に進級時に、いずれかの分野に配属されます。

生涯学習・  
文化遺産教育  
コース



社会教育学  
図書館学  
博物館学  
考古学  
保存科学  
文化財科学

# 生涯学習の3分野

## 図書館学・博物館学・社会教育学

生涯学習を支え、  
コーディネートするための力を  
身につけることができます



公民館・図書館・博物館など  
生涯学習施設の理念や役割、  
活動に関する多くの授業が  
用意されています。



図書館で人びとの読書や学びを支える  
公民館で人びとの学びや楽しみを支える  
生涯学習関連企業で活躍する……  
さまざまな教育支援を支える理念、さまざま活動

# 文化遺産教育の3分野

## 考古学・保存科学・文化財科学



考古学分野では、毎年夏に栃木県壬生町で発掘調査を行っています(写真左上)。

保存科学分野では、文化財の保存、修復に関する、調査研究を行っています(写真右上)。

文化財科学分野では、考古資料や美術工芸品などの科学的調査・研究を行っています(写真右下)。



# 身につけられること・取得できる資格

- **実践を通してひとりひとりが能動的に学ぶ学習方法**（フィールドワークやグループ活動などのアクティブ・ラーニング）を重視します。個を大切にすると主体的な学びを体得できます。
- 個々の学びを大切にしながら、チームアプローチ（さまざまな関心を持つ人びとが一つの課題に協力して取り組む）を取り入れた授業を大切にするので、コーディネート力が身につきます。
- **社会教育主事、図書館司書、学校司書、博物館学芸員**の資格（国家資格）のうち希望する資格を複数取得することができます。

# このコースに入った人が目指す仕事

公的な立場で市民の学習活動を支援する専門職(公民館職員、図書館司書、学校司書、博物館学芸員、社会教育主事等)

広い視野を持ち、人々の自己実現と地域の課題解決のための学びあいを支える仕事(自治体職員、生涯学習関係施設・団体スタッフ)

学校教育と連携した文化財活用のできる博物館、美術館学芸員、文化財調査研究機関職員など





# 近年の主な就職先(2019～)

## 【国・地方自治体関係】

法務省、厚生労働省、東京都、埼玉県、鳥取県、京都府警、大分県、品川区、練馬区、武蔵野市、小金井市、小平市、立川市、八王子市、川崎市、さいたま市、熊谷市、木更津市など

## 【博物館・美術館・図書館関係】

埼玉県立歴史と民俗の博物館、北海道博物館、調布市郷土博物館、坂戸市立歴史民俗資料館、帝京大学総合博物館、東京文化財研究所、国立国会図書館、日野市立図書館など

## 【政府系法人・国公立大学法人・学校法人】

日本学術振興会、公立長野大学、川崎学園、河合塾、三幸学園仙台医療秘書福祉専門学校、上智学院、常葉大学、駿河台学園、東洋大学、新渡戸文化学園、など

## 【民間企業】

学研、近畿日本ツーリスト、資生堂ジャパン、大和証券、ニチイ学館、日本通運、ベネッセ・コーポレーション、マイナビ、三菱ケミカル物流、明治安田生命、NTTドコモ、SUBARUなど

## 【大学院進学】

東京学芸大学、東京藝術大学、東京工業大学など

## 本コースに適している人

- いろいろな人と協働し、一緒に何かを考えたり創造したりすることが好きな人。
- 学びや交流を通じた人づくり、まちづくり、コミュニティづくりに関わりたい人。
- 公立図書館や学校図書館などで、司書として活躍したい人。
- 専門職員や学芸員として、文化財・文化遺産に強い関心があり、情熱をもってその保存や博物館などでの教育的な活用にあたりたい人。

お わ り に

# 生涯学習・文化遺産教育コース 受験生サイト

**About Course**  
生涯学習・文化遺産教育コースがスタートしました

生涯学習・文化遺産教育コースでは、地域や職場、公民館・図書館・博物館・学校などにおいて、学習活動を実施する人材、文化財とその関係の教育活動等に意欲的な人材の養成を目的としています。

本コースでは、社会的・学問的・娯乐的にも役立つ力を加え、他人に共感し、交流し、協働していく態度を大切にする人を養成しています。

**Course Aims**  
本コースのねらい

**社会と文化、そしてAcademy**

人間人と人とのつながりの中で生きています。そのつながりは、地域社会といふ大きな単位を超えて、国際社会につながる単位でもあります。そんな大きなつながりの単位を視野から見たときに、文化という視点が必要になります。

人間のつながりを意識的に見ることができれば、私たちの心の切り方次第です。ここにAcademyが生まれます。

**過去、現在、未来を見通す自由な想像力**

他の誰かの学びに頼ることが私たち自身の喜びと学びになる。こうした積極的な学びの姿勢の醸成が本コースのねらいです。

学びの場には、学生さん一人一人が個性を発揮するプラットフォームはもろもろのこと、思い込みの意識にも思いを馳せなければなりません。人間性が磨かれます。また、学問の発展も促されます。学びの場が広がる文化財のつながりがあるかによって、過去・未来につながる文化も変わってきます。

本コースの学びの場は、過去から現在、そして未来を見通す、自由な想像力の場です。

**育てたいのはあらゆる学びのデザイナー**

東京学芸大学という、小学校や中学校の教員を養成する大学のイメージが強いかもしれませんが、それだけではなくあります。

何となくイメージに置いていかれるのは、学芸大です。心の広さを育てるあらゆる学びのデザイナーを養成したい、それが本コースの願いです。

**Expert and Seminar**  
先生たちと研究室紹介

学び合える社会を築く  
社会教育学・美術学  
まちづくりが教育になる  
社会教育学・東洋学  
賢者立ち立れる場所へ  
博物館学・図書学

**Entrance Examination & Open Campus**  
入試・オープンキャンパス

**試験の日について**

東京学芸大学は、国立学法人です。そのため、大学入試共通テストを併用したりまで、前期または後期日程の大学試験を行います。大学試験に関する詳細はこちらをご覧ください。

**オープンキャンパスについて**

毎年、前期・後期オープンキャンパスを実施しています。詳しくは、こちらをご覧ください。

**Links**  
関連リンク

研究の魅力を先生方語る「極め人」コーナーや、ゼミの活動の紹介、大学生活・授業内容・進路など、盛りだくさんのウェブサイトです。学生の声や、よくある質問コーナーも是非ともご覧ください。

- 大学周辺でおいしい食べ物が食べられるお店を教えてください。
- 東京で学習することのメリットはなんでしょうか。あれば教えてください。
- 一人暮らしすることが不安ですが・・・
- 大学一年生のうちに絶対やっておくべきことはありますか？

## Voice 学生の声:印象的な出来事

- 1年次では絶対仲良くなれなさそうと思っていた同級生と、一緒に年越しやお泊まりをするくらい仲良くなりました。学芸の生活も何が起こるか分からないものだなと感じています。
- 美術棟の展示スペースで学生によるユニークな催しや展覧会を行っているのが好きです。
- 社会教育に関わる方の話を聞けました。
- 大学構内が広大なため正門に着いても教室まで遙かなる行脚が必要。なぜ東急線の学芸大学駅に大学が存在しないのか毎日考えながら登校する。
- 小金井祭(学園祭)！
- 夏休みが他大学よりも長くてよかったです。帰省や旅行などいろいろなことができました。
- 授業の間に日向ぼっこしていたら、保育園の先生が数人の子どもを乗りに乗せ、お散歩に連れ出しているところを見かけたことが印象的です。先月、地べたに白く線を描いたものが残っていて、学校を訪れる子どもたちが元気そうにしていることがわかり楽しい気持ちになりました。

\* <https://sites.google.com/view/lifelongheritage/>

# 「君は何を学ぶ科」

東京学芸大学のホームページに、「君は何を学ぶ科」というコンテンツがあります。

東京学芸大学にはたくさんの学科がありますが、その中では一体何を学んでいるのでしょうか？ 毎回1つの学科にスポットを当て、紹介していくコーナーですが、記念すべき第1回目が私たちのコースで、多くの方がたに見ていただいています。

何年か前につくられたウェブサイトのため、コース名や担当教員の構成、授業内容が異なる部分もありますが、学びの特徴をよく表している内容になっています。



The image shows a screenshot of a website titled "君は何を学ぶ科" (What do you study?). The page features a dark blue header with various colorful icons representing different subjects and learning activities. Below the header, the main content area is titled "5期 生涯学習" (5th Course Life Learning). It includes a photograph of four students (three women and one man) sitting around a table, engaged in a group activity. Below the photo, there is a small text block and a grid of six circular icons, each representing a different subject: 保健科学 (Health Science), 文化科学 (Cultural Science), 実学 (Practical Studies), 情報科学 (Information Science), 国際科学 (International Science), and 社会教育 (Social Education).

\* <https://www.u-gakugei.ac.jp/tguweb/gakka/0100.html>

## 最後にー大学は自分の可能性を拓ける場

- 大学選び、学部選びは、何が、どのように学べるのか、何を学ぶか、その大学にどのような教育資源があるのか、どのような雰囲気か等を知ること大切です。そして、自分の特性や可能性をもとに個々の目的意識をしっかりとって選択していきましょう。
- 卒業後の進路もある程度念頭に置きつつ読書をしたり、ボランティア活動への積極的な参加や、未来の自分を具体的に思い浮かべての受験勉強に励んでいただくことを期待しています。